

平成29年度宮古地区安全大会が開催されました

平成29年度の宮古地区安全大会(主催:沖縄県労働基準協会宮古支部など4団体)が平成29年6月6日に宮古島市中央公民館1階大ホールで開催されました。

同大会は、安全意識の高揚と安全活動の定着を目的に、全国安全週間(7月1日から7月7日)の準備期間中に開催されたもので、企業の代表者や安全担当者等約130人が参加しました。

大会では最初に、労働災害で亡くなった労働者の冥福を祈り、1分間の黙とうをささげました。

主催者からは、「労使が一体となって宮古から労災ゼロを目指して頑張りましょう」「常に安全を心掛けよう」と呼び掛けがあり、当署の署長から、「宮古地区における平成28年の労働災害は過去最高件数であった」「今年度は労災減少に全力で取り組む方針である」「労使一体となった安全活動の実施をお願いしたい」と呼び掛けました。

また、特別講演「**宮古伊良部農業水利事業について**」では、内閣府沖縄総合事務局宮古伊良部農業水利事業所の勝見崇所長から「**地下水を活かした豊かな美ぎ島**」をテーマに、国営事業としての宮古島の地下水資源の利用開発と、土地改良事業によってもたらされた効果について講演がありました。

大会終盤では、「**安全で安心な職場環境を作っていくため、事業者と労働者が一体となって安全活動に取り組んでいく**」とする大会宣言を採択し、参加者全員で「指差呼称」を行い、今後のさらなる安全活動実施の決意を新たにしました。



参加者による指差呼称